| | |
|---|---|
| 事例No. | 2634 |
| 公表年度 | R5 |
| 団体の属性 | その他 |
| 団体名 | 特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | 地域活性化 |

| | |
|---|---|
| タグ | ・地域運営組織<br>・関係人口<br>・人材確保・育成 |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | 関係人口 |

事例内容・タイトル

特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク

出典

平成29年度ふるさとづくり大賞事例集

最優秀賞

# 特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク　宮城県石巻市

## 概　　要

震災前から取り組んでいた地域活動のネットワークを生かし、発災後まもなく団体を設立。震災後、子育てのしづらさ、女性の就労の難しさがより一層深刻化する中、厳しい環境に置かれた方たちを支援するため、声が上げづらい人たちのニーズを掘り起こし、被災者として同じ目線で寄り添った活動を展開。「石巻に恋しちゃった♡」、「仮設住宅を中心としたコミュニティづくり」、「Eyes for Future by ランコム」、「コミュニティスペース バタフライ」など、地元主体の復興とまちづくりに向けた幅広い活動を展開している。



## 評価された点



・「石巻に恋しちゃった♡」をはじめ、数々の事業を展開。住民主導のコミュニティ活動が定着している。達人が増え続けていることは、これからの地域づくりへの可能性を感じる。
・多種多様な取り組みで、交流人口の拡大に貢献している。企業との連携の好事例。
・震災後、地域住民と県外のＮＰＯなどの支援者がタッグを組み、被災者の苦しみを取り除き、まちを元気にするための斬新でユニークな試みを次々に打ち出し、継続している。人と人がつながりあうことによって、大きな力を生み出し、その力がさらに周囲にも波及している。”人の力による復興”のモデルケースといえるだろう。
・震災を契機に設立された団体として、仮設住宅を中心としたコミュニティ支援や女性の自立支援に取り組んでいる。取り組みから新たな連携や起業が生まれたり、住民の自立・人材育成につながったりしている点が評価できる。
・被災地石巻を元気にするために、仮設住宅のコミュニティづくり、起業支援、交流事業を展開し、復興への人々の「心のケア」元気な気持ちを創ってきた。
・地域のネットワークを活用して、震災後地域の一つの中心として特にマイノリティの方々の支援や復興に取り組んでこられた点は評価に値する。
・復興支援活動のコミュニティづくりではあるが、男性、女性、子供等、住民に密着した幅広い取り組みと止まることなく発展している活動の事例。
　復興支援活動。継続された地域づくりとして精力的な活動になっている様子がうかがえる。継続的な活動となっており、多方面と連携していることもあり、今後の展開が期待される。
・震災前からの日常の悩み解決等、必要とするニーズ解決型のコミュニティづくりの信念を持った活動展開は、大変主体性を持った継続性と自立性に富んでいる。
・新たなコミュニティづくりを積極的に推進し自立へとつながりつつあることが大きな成果だと思う。多くの起業者や団体を立ち上げて雇用創出にもつながっており地域経済の活性化に多大な貢献をしていると思う。
・女性就労の具体的手法をはじめ多様な事業を、震災後という厳しい環境の中、継続的な取組をしている点を評価。




